

高P連代表4名が県教育委員会との意見交換会実施

2023/8/2

8月2日、県教育委員会と高P連代表者との意見交換会が、天神前分庁舎の教育長室で開かれました。県教育委員会からは淀谷教育長ほか幹部6名、高P連からは杉本会長、入門副会長（高松高校PTA会長）、山田監事（高松西高校PTA会長）、事務局長の4名が出席しました。

意見交換会では、まず杉本会長が、今年度実現した教室空調関係経費の公費負担についてお礼を申し上げるとともに、現在進めているICT活用教育推進事業の意義や期待についてお伝えしました。そして、高P連としては県教育委員会と協力しながらすべての生徒たちが充実した学校生活を送れるよう支援する必要があるため、各学校から寄せられたご意見やご要望をお伝えしたいと説明しました。その後、高P連代表者4名が、それぞれ学校教育の充実や教育環境の整備に関する要望を説明しました。



意見交換会での懇談のようす

お伝えした内容は以下のとおりです。

【学校教育の充実について】

- ①地域に貢献する人材を育成するため、大学や産業界と連携する機会を増やしていただきたい。
- ②SNSの活用など中学校の早い段階から各学校の取組みを発信する工夫をお願いしたい。
- ③各学校が魅力化・特色化の取組みを一層推進できるよう経費面での支援をお願いしたい。
- ④特別支援学校において進路情報の提供と指導の充実のための教員の増員をお願いしたい。

【教育環境の整備・充実について】

- ①老朽化した建物の計画的な改修、特にトイレの洋式化やバリアフリー化を進めていただきたい。
- ②一人一台端末についてハード面の整備・充実とICT支援員の増員をお願いしたい。
- ③特別支援学校の特別教室の整備など障がい種に応じた教育環境の整備を進めていただきたい。
- ④特別支援学校に医療・福祉などの外部人材や卒業後のフォローのための人員配置をお願いしたい。
- ⑤特別支援学校の働き方改革のため、スクールソーシャルワーカーの配置をお願いしたい。

淀谷教育長からは、それぞれの内容について一つ一つ丁寧に回答していただきました。特に、学校の置かれている現状やさまざまな課題について理解しているとお言葉が印象的でした。その上で、今後、できる限り対応策を検討又は推進していきたいとお考えをお話しくださしました。意見交換会の実施は今年で2年目ですが、予定していた時間をかなりオーバーする終始和やかな話し合いとなりました。



教育長に要望書を手渡し

意見交換会の実施は今年で2年目ですが、予定していた時間をかなりオーバーする終始和やかな話し合いとなりました。

高P連では、今後も学校のさまざまな課題や要望について意見をお聞きしながら、県教育委員会との意見交換を行っていきたいと考えていますので、各学校でも保護者の皆さんと先生方で活発な意見交換をしていただき、高P連までご意見やご要望をお寄せいただきたいと思います。